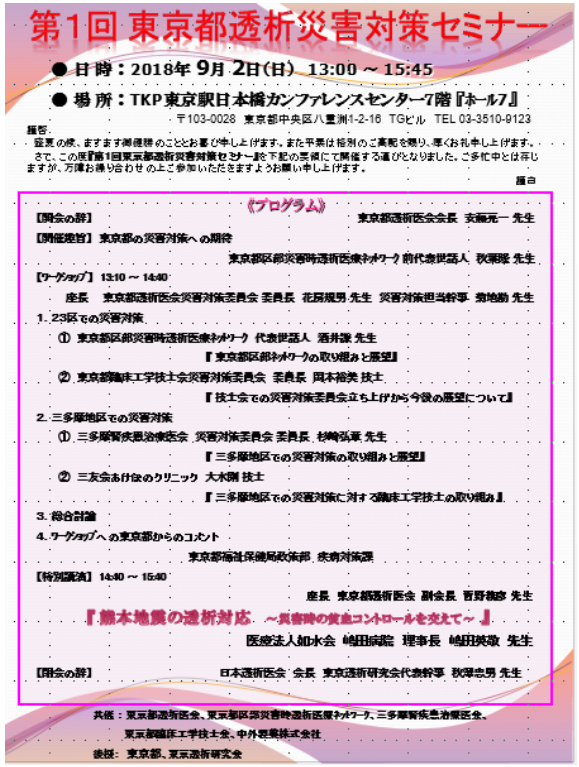


第1回 東京都透析災害対策セミナー

● 日 時：2018年 9月 2日（日） 13:00 ～ 15:45

● 場 所：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター7階『ホール7』

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-2-16 TGビル TEL 03-3510-9123

謹啓

盛夏の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度第1回東京都透析災害対策セミナーを下記の要領にて開催する運びとなりました。ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせのご参加いただきますようお願い申し上げます。

謹白

《プログラム》

【開会の辞】 東京都透析医会会長 安藤亮一 先生

【開催趣旨】東京都の災害対策への期待

東京都区部災害時透析医療ネットワーク 前代表世話人 秋葉隆 先生

【ワークショップ】 13:10 ～ 14:40

座長 東京都透析医会災害対策委員会 委員長 花房規男 先生 災害対策担当幹事 菊地勘 先生

1. 23区での災害対策

① 東京都区部災害時透析医療ネットワーク 代表世話人 酒井謙 先生

『東京都区部ネットワークの取り組みと展望』

② 東京都臨床工学技士会災害対策委員会 委員長 岡本裕美 技士

『技士会での災害対策委員会立ち上げから今後の展望について』

2. 三多摩地区での災害対策

① 三多摩腎疾患治療医会 災害対策委員会 委員長 杉崎弘章 先生

『三多摩地区での災害対策の取り組みと展望』

② 三友会あけぼのクリニック 大水剛 技士

『三多摩地区での災害対策に対する臨床工学技士の取り組み』

3. 総合討論

4. ワークショップへの東京都からのコメント

東京都福祉保健局政策部 疾病対策課

【特別講演】 14:40 ～ 15:40

座長 東京都透析医会 副会長 菅野義彦 先生

『熊本地震の透析対応 ～災害時の貧血コントロールを交えて～』

医療法人如水会 嶋田病院 理事長 嶋田英敬 先生

【閉会の辞】 日本透析医会 会長 東京透析研究会代表幹事 秋澤忠男 先生

共催：東京都透析医会、東京都区部災害時透析医療ネットワーク、三多摩腎疾患治療医会、東京都臨床工学技士会、中外製薬株式会社

後援：東京都、東京透析研究会

第1回 東京都透析災害対策セミナー

● 日 時：2018年 9月 2日（日） 13:00 ～ 15:45

● 場 所：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター7階『ホール7』

【開会の辞】 東京都透析医会会長 安藤亮一 先生

【開催趣旨】東京都の災害対策への期待

東京都区部災害時透析医療ﾈｯﾄﾜｰｸ 前代表世話人 秋葉隆 先生

【ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ】 13:10 ～ 14:40

座長 東京都透析医会災害対策委員会 委員長 花房規男 先生 災害対策担当幹事 菊地勘 先生

1. 23区での災害対策

① 東京都区部災害時透析医療ﾈｯﾄﾜｰｸ 代表世話人 酒井謙 先生

『東京都区部ﾈｯﾄﾜｰｸの取り組みと展望』

② 東京都臨床工学技士会災害対策委員会 委員長 岡本裕美 技士

『技士会での災害対策委員会立ち上げから今後の展望について』

2. 三多摩地区での災害対策

① 三多摩腎疾患治療医会 災害対策委員会 委員長 杉崎弘章 先生

『三多摩地区での災害対策の取り組みと展望』

② 三友会あけぼのクリニック 大水剛 技士

『三多摩地区での災害対策に対する臨床工学技士の取り組み』

3. 総合討論

4. ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟへの東京都からのコメント 東京都福祉保健局政策部 疾病対策課

【特別講演】 14:40 ～ 15:40 座長 東京都透析医会 副会長 菅野義彦 先生

『熊本地震の透析対応 ～災害時の貧血コントロールを交えて～』

医療法人如水会 嶋田病院 理事長 嶋田英敬 先生

【閉会の辞】 日本透析医会 会長 東京透析研究会代表幹事 秋澤忠男 先生

共催：東京都透析医会

東京都区部災害時透析医療ﾈｯﾄﾜｰｸ

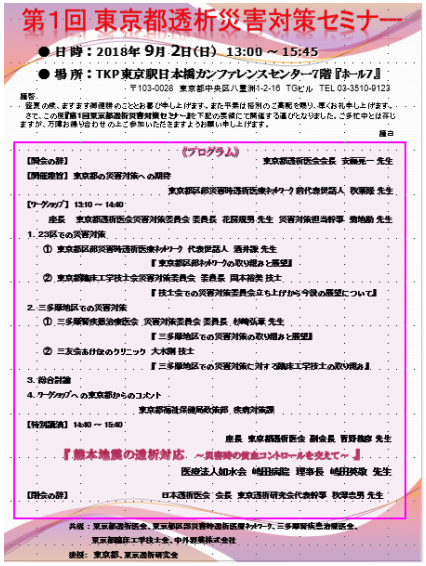
三多摩腎疾患治療医会

東京都臨床工学技士会

中外製薬株式会社

後援：東京都、東京透析研究会

TKP



第1回 東京都透析災害対策セミナー

● 日 時：2018年 9月 2日(日) 13:00 ～ 15:45

● 場 所：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター7階『ホール7』

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-2-16 TGビル TEL 03-3510-9123

謹啓

盛夏の候、ますます御健様のこととお喜び申し上げます。また平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度『第1回東京都透析災害対策セミナー』を下記の要領にて開催する運びとなりました。ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせのよご参加いただきますようお願い申し上げます。

謹白

《プログラム》

【開会の辞】 東京都透析医会会長 安藤元一 先生

【開催趣旨】 東京都の災害対策への期待

東京都区部災害時透析医療ネットワーク 前代表世話人 秋葉隆 先生

【ワークショップ】 13:10 ～ 14:40

座長 東京都透析医会災害対策委員会 委員長 花房規男 先生 災害対策担当幹事 鳥地勛 先生

1. 23区での災害対策

① 東京都区部災害時透析医療ネットワーク 代表世話人 酒井謙 先生

『東京都区部ネットワークの取り組みと展望』

② 東京都臨床工学技士会災害対策委員会 委員長 岡本裕美 技士

『技士会での災害対策委員会立ち上げから今後の展望について』

2. 三多摩地区での災害対策

① 三多摩腎疾患治療医会 災害対策委員会 委員長 杉崎弘章 先生

『三多摩地区での災害対策の取り組みと展望』

② 三友会あけぼのクリニック 大木剛 技士

『三多摩地区での災害対策に対する臨床工学技士の取り組み』

3. 総合討論

4. ワークショップへの東京都からのコメント

東京都福祉保健局政策部 疾病対策課

【特別講演】 14:40 ～ 15:40

座長 東京都透析医会 副会長 吉野穂彦 先生

『熊本地震の透析対応 ～災害時の食血コントロールを交えて～』

医療法人如水会 嶋田病院 理事長 嶋田英政 先生

【閉会の辞】 日本透析医会 会長 東京透析研究会代表幹事 秋葉忠男 先生

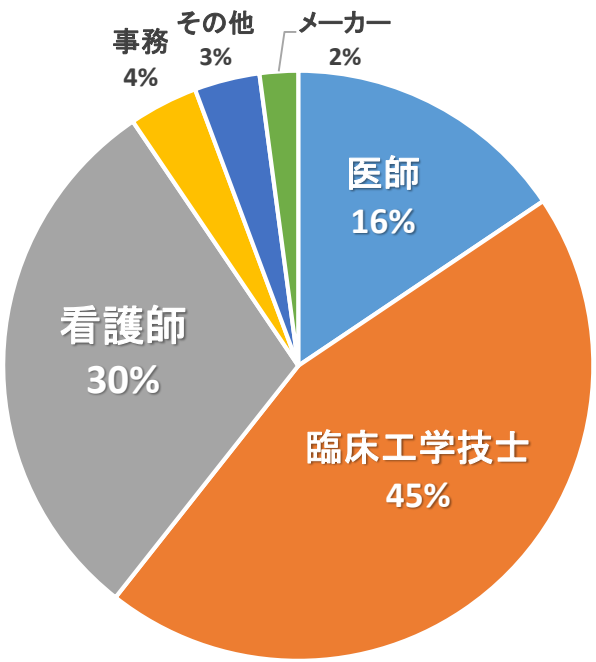
共催：東京都透析医会、東京都区部災害時透析医療ネットワーク、三多摩腎疾患治療医会、

東京都臨床工学技士会、中外製薬株式会社

後援：東京都、東京透析研究会

- 事前参加申込み数 588名
- 当日参加者人数（推定） 570名
- 参加記録／アンケート回収数 475名（枚）
  206施設
  (アンケート回収率 83%)

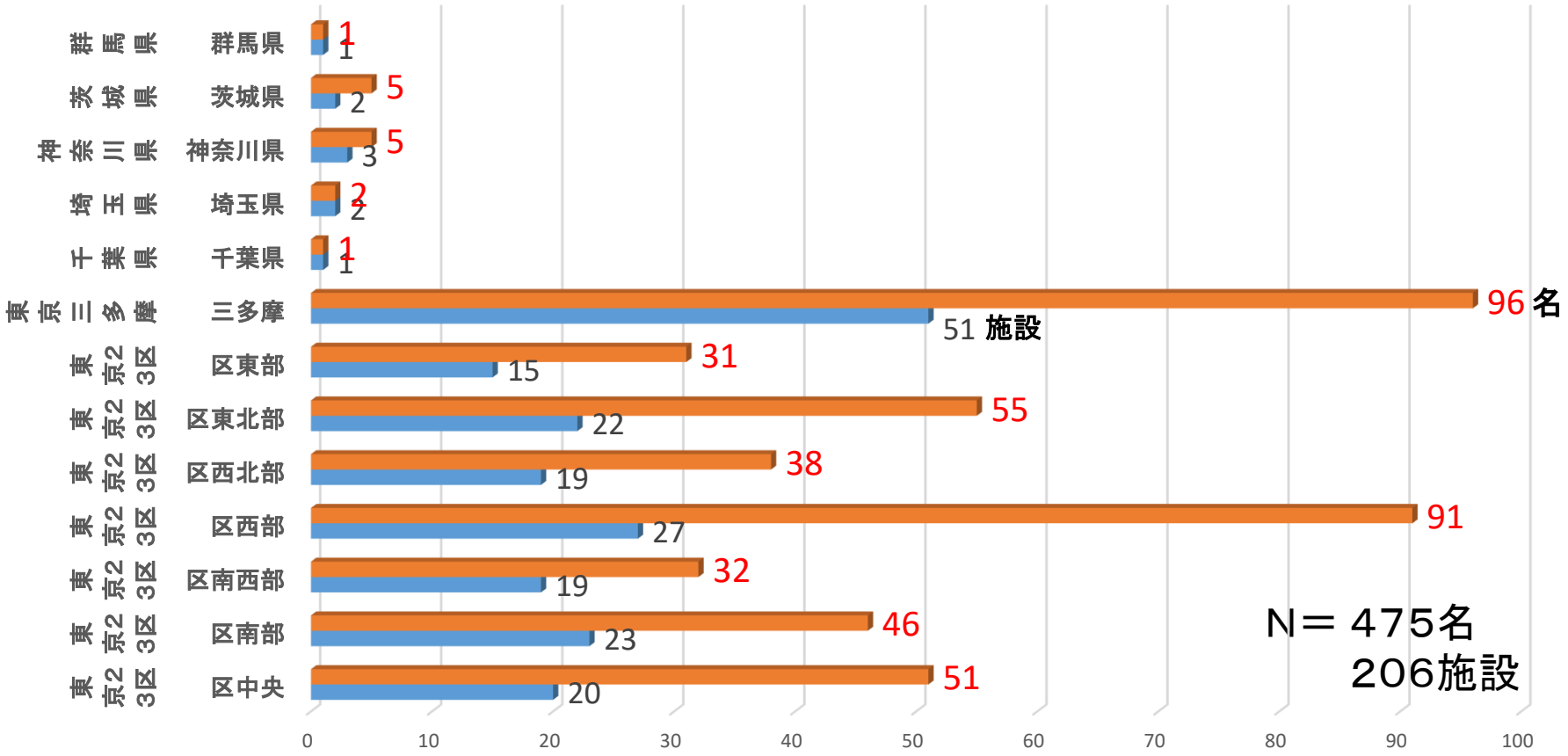
【参加者職種別割合】



職種	人数
医師	74
臨床工学技士	214
看護師	142
事務	18
その他	17
メーカー	10

N＝475

【地域別参加者割合】



	東京23区	東京23区	東京23区	東京23区	東京23区	東京23区	東京23区	東京三多摩	千葉県	埼玉県	神奈川県	茨城県	群馬県
	区中央	区南部	区南西部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	三多摩	千葉県	埼玉県	神奈川県	茨城県	群馬県
■参加人数	51	46	32	91	38	55	31	96	1	2	5	5	1
■施設	20	23	19	27	19	22	15	51	1	2	3	2	1

23区　344名（145施設）

東京都　440名（196施設） ※アンケート提出者のみ

第1回 東京都透析災害対策セミナー 【参加記録】【アンケート】

※【参加記録】を会合参加のための記帳に代えさせて頂きます。今後の会運営のみに使用させて頂きます。

※【アンケート】部分は差し支えない範囲の記入で結構です。内容は今後の会運営のみに使用させて頂きます。

2018年9月作成

参加記録				
	ご施設名		ご所属	病院 ・ クリニック 他（　　）
	お名前			
	ご施設エリア	市・区・町・村		
	職種	医師・看護師・臨床工学技士・事務・その他（　　）		

アンケート

Q1 今回のセミナーは全体を通していかがでしたでしょうか。
また、良かった部分、悪かった部分を教えて頂けますでしょうか。

□大変良かった　□良かった　□普通　□いまいちであった　□悪かった

【良かった部分】

【悪かった部分】

Q2 透析災害対策テーマで、さらに聞いてみたい話はございますでしょうか。

□ 特になし

□ あり

Q3 今後の会合運営および透析災害対策に対するご意見・ご要望等ございましたら
教えて頂けますでしょうか。

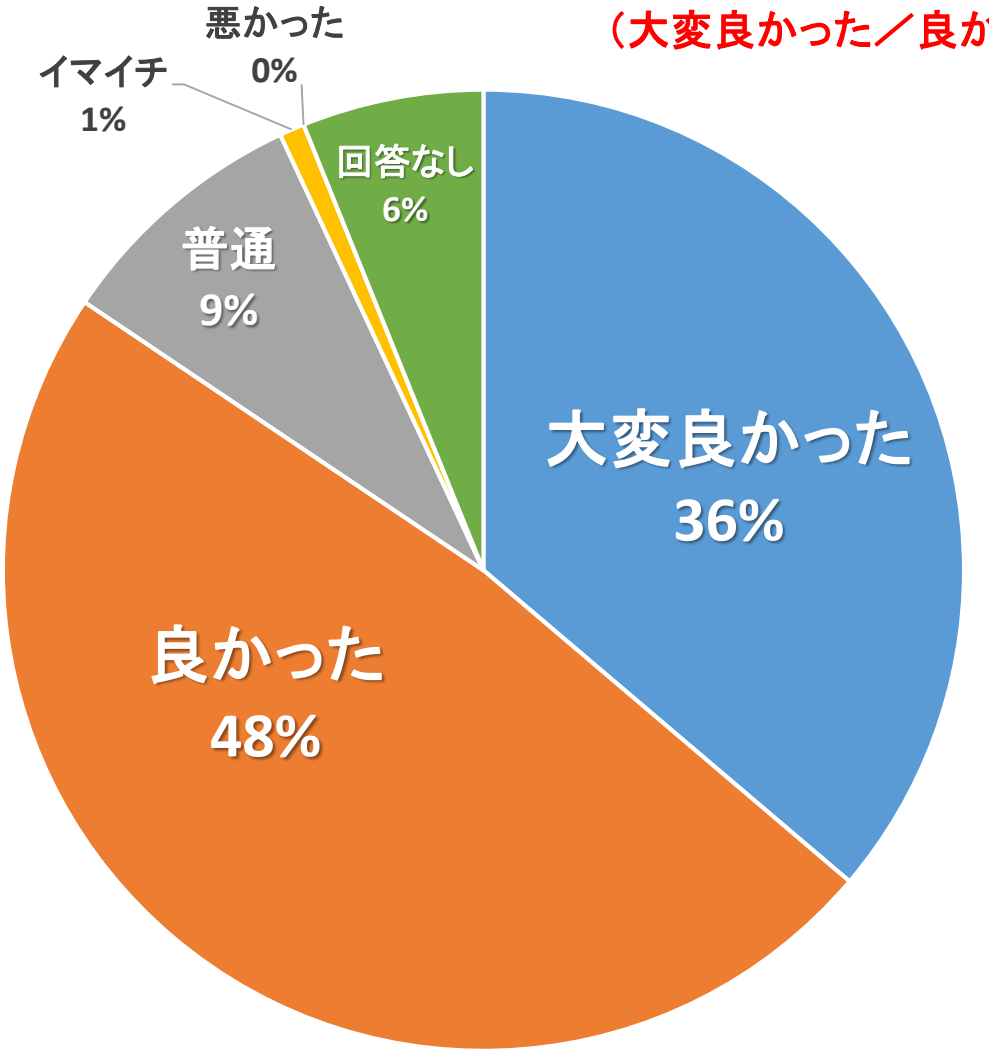
- 事前参加申込み数
  588名
- 当日参加者人数（推定）
  570名
- 参加記録／アンケート回収数
  475名
  206施設
  (アンケート回収率　83%)

【セミナーアンケート評価】

Q：今回のセミナーは全体を通していかがでしたでしょうか。

84%の参加者に評価頂けるセミナーであった

（大変良かった／良かった）



大変良かった	172
良かった	229
普通	41
イマイチ	4
悪かった	0
回答なし	29
	475

N＝475名

【セミナーアンケート評価】

Q：今回のセミナーの良かったところは？　（一部抜粋。 詳細は別紙参照）

- 熊本の実際の体験談が非常に参考となり、災害対策への意識が高まった。
- 安藤先生はじめ役員のご意見も聞くことができて良い機会となった。
- 今後のﾈｯﾄﾜｰｸの活動予定が良く分かった。
- 多数の参加者にも拘らず、別会場準備などの手配が良かった。
- Drとスタッフが同じセミナーを受け、共有できる会は良いと思う。
- 災害対策の重要性がこのセミナーに参加して明確になった。
- 技士会の災害対策委員会が情報共有し、ﾈｯﾄﾜｰｸ構築していく過程がわかりやすく良かった。
- 演者選定や会合準備が良い。司会の先生方の采配が適格。これほどの大人数の会運営。
- 講義だけでなく、総合討論での質疑があったこと。都内の話しだけでなく嶋田先生の特別講演も聞けて良かった。
- JHATについて知ることができて良かった。
- 時間が足りないくらいの貴重な話しでした。
- 自施設が準備不足であることに気づくことができた。
- JHATやニプロ物流などの話しが具体的に聞けて良かった。熊本地震の実際の話しが参考になった。
- これほど多くの参加者があったことは、大きな関心事であることと、このテーマを解決したい強い意志があること。
- 都区部、三多摩のそれぞれの代表が一つのﾈｯﾄﾜｰｸ構築に向けて具体的に活動し始めていることがわかった。
- ﾈｯﾄﾜｰｸの構図が理解できました。
- 各関係機関が一堂に集まり意見交換する機会は非常に良いと思う。
- 熊本地震の体験講演が本当に良かった。想像意識からリアルでとらえることができました。

【セミナーアンケート評価】

Q：今回のセミナーの悪かったところは？

- 都としての具体的な話を聞きたかった。
- 講演を減らして、討論の時間をもっと長くしてほしい。
- 問題・課題の先送り感がある
- 会場が狭い、音声が小さい、後方からｽﾗｲﾄﾞが見づらかった、
- 手元資料が欲しかった。机も欲しかった（イスだけで長時間はつらい）。
- 施設登録していないところがあるのが残念。電力関連の対策が不十分なのでは。
- どのテーマも駆け足な発表であったので、今後は余裕を持った時間確保でお願いしたい。
- 参加者が溢れていて、ある意味避難訓練のようであった。
- 組織連携について話が集まり、実際の情報の処理の仕方についてはまだ未解決である。
- 都区部と多摩エリアの内容が結局同じであった。各発表内容に重複があった。
- 地域的な対策提示が必要と思います。
- 東京都全体のまとまった方向性を示せなかった（模索段階）
- 東日本大震災から7年も経過しての東京都透析医会発足はようやく感ある。

【セミナーアンケート評価】

Q：今後、災害対策のセミナーの特に聞きたい内容は？（一部抜粋。 詳細は別紙参照）

◎ 災害時、災害対策としての**行政（役所・警察・水道局・消防）との具体的関わり方**

◎ 災害の際の**広域患者移送方法**や効率的な避難方法について

◎ **アクションカード**は有用なのか？その活用法について。

◎ 施設－施設／施設－患者の**情報伝達方法**について（**無線やSNS等の使用方法**）

◎ 災害時のエリア内および広域での**透析患者支援　受入れ／依頼　調整**について

◎ **災害訓練**について知りたい（マニュアル、施設取り組み報告　等）

◎ 実際の**被災体験談**（医師、臨床工学技士、看護師）

◎ **JHAT**についてもっと知りたい。**GoogleMAP**の活用方法についても知りたい。

◎ 災害時の**水源確保と水質管理**について（行政連携含め）。災害時透析条件。

◎ 地震だけでなく**あらゆる災害の対策**について（ｵﾘﾝﾋﾟｯｸﾃﾛを含めた都市型災害対策）

◎ 災害時の**医材料供給体制**と保管量、場所について。

◎ 今回は技士メイン話題が多かったので、**看護師サイド**の話しも聞きたい。

◎ **DMAT**との関わりについて。災害時の**水道・電気等のインフラ**について。

◎ 災害対策としての**患者指導**について。施設で備えておくべきこと。

【セミナーアンケート評価】
Q：災害対策事務局へのご意見、ご要望（一部抜粋。 詳細は別紙参照）

◎　もっと行政との連携をとっていくべき

◎　災害時のシミュレーション動画等あればもっと意識が上がると思います。

◎　フォーマットや連絡先の統一化。シンプルにすることが必要。災害時に本部に情報が集約されることで、負担が一気に増えることに対する何かしらの対策が必要。

◎　より多くの人がJHATに参加することが災害対策に繋がると思う。また、透析に関わる企業の協力も必要と思う。

◎　このような会合は継続して開催して欲しい。第二回も参加します。

◎　マニュアルの見直しも必要ではないか。職種別（看護師、ME、医師）で欲しい。

◎　患者向けセミナーでの啓発活動は必要。

◎　看護協会にも参加して欲しい（JHATには看護学会も入っている）

◎　具体的な取り組みは各エリア単位で検討すべき。ブロック毎の定期的なセミナー開催を希望。そして、年１回くらいは都全体でこのような会合があっても良いと思います。

◎　今後の災害対策ﾈｯﾄﾜｰｸの進捗を定期的に聞いてみたい。

◎　医療機関の通信設備について、公的援助を関連学会より要求してはいかがか。

◎　多くの関心者がいるので、動画にしてWEB録画配信形式でもよいのでは。